

借入一覧表と、銀行面談の前に確かめること

借入を1枚に並べると、組み替えの余地が見えます。面談前のチェックも付けました。

借入一覧表

返済予定表を手元に置いて記入してください。金融機関ごと、1本ずつ分けて書きます。

金融機関	借入日	当初額	期間	残高	毎月返済 (元金)	金利	資金使途	保証 協会	経営者 保証
合計									

書き終えたら、ここを見ます。

- ・設備投資を短期で借りていないか……回収前に返済が来ます。借り方が逆になっている典型です
- ・運転資金を長期で借りていないか……本来は短期の反復で回すもの。長期で借りると枠を食います
- ・毎月返済の合計……これが「売上ゼロでも出ていく金額」に乘ります
- ・保証協会付きの残高……枠の残りを、借りる予定がないうちに確認しておきます

債務償還年数を出す

① 有利子負債（上の残高合計）	
② 現預金残高	
③ 営業利益	
④ 減価償却費	
⑤ $① \div (③ + ④) = \text{債務償還年数（簡易）}$	
⑥ $(① - ②) \div (③ + ④) = \text{現預金を引いた場合}$	

目安は**10年以内**とされています。ただし**計算式は1つに決まっていません**。簡易式で見る銀行もあれば、正常運転資金（売掛金＋在庫－買掛金）を差し引いて見る銀行もあり、年数が変わります。**取引銀行がどちらで見ているかは、聞けば教えてもらえます**。借りる話をしていないときに聞くほうが、落ち着いて話せます。

面談の前に確かめる10項目

✓	確認すること
	直近の試算表が出ているか（決算待ちにしない）
	前期からの増減で、説明が必要な科目を把握しているか
	役員貸付金があるか。あるなら、その理由を説明できるか
	資金使途を一言で言えるか（何に、いつ、いくら）
	返済原資を数字で示せるか（営業利益＋減価償却費）
	最悪のケースでどうするかを用意しているか
	資金繰り表を6か月先まで出しているか
	悪い数字を先に出す準備ができているか
	他行の取引状況を聞かれたときの答えを決めているか
	社長本人が説明できるか（税理士任せにしない）

よくある誤解。悪い数字は隠すより先に出したほうが、説明の機会をもらえます。後から見つかり、数字そのものより「報告がなかったこと」が問題になります。

稲田光浩税理士事務所

代表 稲田 光浩（税理士／近畿税理士会・登録番号135413）／認定経営革新等支援機関

東京プロマーケット上場準備企業 監査役／社会医療法人 監事

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-21 ミツフ新御堂筋ビル605 TEL 06-7777-1762（平日9:00-20:00・土日祝対応可）

解説ページ <https://inada-tax.com/zaimu-20-check/> ／ 初回のご相談は45分・無料（対面／オンライン）

本シートは一般的な考え方を整理したものです。個別の判断は決算書・借入内容・業種によって変わります。実際の適用にあたっては顧問税理士または当事務所にご確認ください。 © 稲田光浩税理士事務所